

11月11日～12月12日
電池月間



でんち

社団法人 電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)
E-mail. bajapan@hi-ho.ne.jp
ホームページ http://www.baj.or.jp/
振替口座 東京8-91022
発行人 木村侃丘
定価 1部郵送による年決め2,400円

平成13年7月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

第29回通常総会、第86並びに 87回理事会を開催

社団法人電池工業会は、第29回通常総会及び第86・87回理事会を機械振興会館で開き、提出6議案はすべて可決承認された。これによって、平成13年度の事業計画が決定し、事業の中では、前年に引続き環境、再資源化問題、国際標準化問題、安全問題等これらの重要課題をより効果的に推進すべく行動計画を立案し、諸事業を行うこととなった。

5月18日、定刻午後3時、正会員22社（総員23名）の出席を得て、第29回通常総会が開催された。電池工業会会長 安田 幸伸（松下電池工業（株）社長）が議長となり、第1号議案から第6号議案までが審議され、各議案とも全会一致で可決承認された。各議案と審議内容は次のとおり。

(1) 第1号議案 会員入退会の件

平成12年度の正会員入会（株）東芝ディスプレイ部品材料社、正会員退会 本多電機（株）、（株）エイティーバッテリー、賛助会員入会 本多電機（株）、賛助会員退会 日本カーボン（株）、モトローラ（株）、井上金属工業（株）の報告があり、全会一致で可決承認された。

(2) 第2号議案 平成12年度事業報告

平成12年度の電池及び電池器具の総出荷は8,587億円、数量で99%、金額で98%と1～2%ではあるが、前年を下回り、年々成長してきた業界としては



厳しい年であった。工業会活動も環境・リサイクル問題は「再生資源の利用促進に関する法律」改正等、行政への協力、標準化関係ではIEC国際規格への日本案の反映、広報活動では電池の上手な使い方、電池のリサイクルに関する諸政策に関し、ユーザーの理解と協力を得られるよう普及活動の推進等、電池を取巻く諸課題解決に向け、活発な取組みが行われた旨の報告があり、原案どおり可決承認された。

(3) 第3号議案 平成12年度収支決算報告

収支が原案どおり承認された。収入の部660,738千円、支出の部541,619千円、次期繰越収支差額119,119千円。

(4) 第4号議案 平成13年度事業計画

本年度は大変厳しい事業環境が予想されるが、従来にも増して、環境・再資源化問題、国際標準化問題、広報活動等を中心に関係諸団体とも連携をとりつつ、工業会活動を強力に推進する。特に再資源化問題

では「小形二次電池再資源化推進センター」が中心となり、4月1日施行された「資源の有効利用促進法」での再資源化プログラムによる再資源化の目標達成に全力を傾注する旨説明が行われ、原案どおり承認された。

(5) 第5号議案 平成13年度予算

予算案874,653千円が原案どおり承認された。

(6) 第6号議案 任期満了に伴う理事、監事選任の件

理事、監事については全員留任と、理事15名からを16名に1名増員し、ジーエス・メルコテック(株)社長 林 謙佐郎氏を新理事に推薦する旨の説明があり承認された。

新役員は次のとおり。

理事	青木 竹宏	青木電器工業(株)	社長
理事	滝口 泰輔	(株)SHマイクロパーツ	社長
理事	鈴木 惟司	FDK(株)	社長
理事	井植 敏雅	三洋電機(株)ソフトエナジーカンパニー	社長
理事	林 謙佐郎	ジーエス・メルコテック(株)	社長
理事	宮嶋 弘	新神戸電機(株)	社長

理事	嘉治 健夫	ソニー(株)CNC ECo.	プレジデント
理事	鈴鹿 芳朗	東芝電池(株)	社長
理事	河合 敏宏	東洋高砂乾電池(株)	社長
理事	田中 千秋	日本電池(株)	社長
理事	赤井 紀男	日立マクセル(株)	社長
理事	加藤 和道	富士フイルムバッテリー(株)	社長
理事	今井 雅也	古河電池(株)	社長
理事	安田 幸伸	松下電池工業(株)	社長
理事	大坪 愛雄	(株)ユアサコーポレーション	社長
理事	木村 侃丘	(社)電池工業会	
監事	中村 俊輔	公認会計士	
監事	宮田 進	三興金属工業(株)	社長

なお、総会の前に第86回理事会を開催、通常総会に提出する議案を審議した。また、総会を途中中断し第87回理事会を開催し、安田会長、田中、鈴鹿両副会長、木村専務理事をそれぞれ選出した。また、総会終了後、同会館5階において懇親パーティーを開いた。来賓として、経済産業省商務情報政策局情報通信機器課環境リサイクル室・川上室長の出席を得て、ご挨拶をいただいた。

平成13年度 第1回小形二次電池部会開催

平成13年6月1日(木)クロファード・イン大沼(函館)において平成13年度第1回小形二次電池部会(出席者17名)が開催された。

小形二次電池全体(ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池)として、平成12年度通期は、数量で前年比100%、金額で同99%であった。上期(数量116%、金額110%)は携帯電話市場の旺盛な需要に支えられたが、下期(数量85%、金額88%)は携帯電話の出荷調整により大きくマイナスとなった。携帯電話に依存している小形二次電池分野のこの傾向は、平成13年度に入り一段と厳しさを増し、回復は平成13年度第三四半期以降と予想されている。今回の部会においては、主要6委員会(業務、海外

環境、技術、国連対応、広報、再資源化)の平成12年度の活動結果および平成13年度の活動計画の報告・審議が行われ、各委員会の活動内容の理解と活動計画等が承認された。

部会の概要

会議は、盛岡部会長より「現在の業界の厳しさは初めてであり、中国等海外メーカの動向など脅威である。本部会で何らかの対策を生み出すことができるよう各位の協力をお願いする。」との挨拶があり、続いて木村専務理事から、5月18日に開催された定例理事会・総会の概要が報告された。その後、各委員会の委員長より、活動概要、主要課題および活動計

画など報告され、審議が行われた。

1. 業務委員会の報告(大内委員長)

1) 平成12年度通期実績

小形二次電池(小形シール鉛除く)の合計は、数量19.9億個(前年比100%)、金額4,645億円(同99%)。また、2003年度までの需要予測

2) 韓国製や中国製の小形二次電池の日本マーケットへの進出状況

2. 海外環境委員会の報告(高尾委員長)

1) 欧州の電池規制動向および平成13年度の活動計画

2) 委員会の役割とEC対応のレベルに関して論議

「EC電池改訂指令書に対するロビー活動」は除くことに決定

3) EC対応の活動は、「情報収集と情報提供」とする

3. 技術委員会の報告(西川委員長)

IECの対応状況および平成13年度活動計画

4. 国連対応委員会の報告(福田委員長)

リチウム系電池の国連危険物輸送関係の対応と計画

5. 広報委員会の報告(中村委員長)

1) 平成13年度の活動計画

リサイクルキャンペーン、マスコミ展開、自治体・学校拠点などの回収推進策

6. 再資源化委員会の報告(浅川委員長)

1) 平成12年度の経過と平成13年度の活動計画

2) 「小形二次電池再資源化推進センター」との関係で3分科会の活動が課題

電池工業会が消防用設備「蓄電池設備」の指定認定機関に!

消防法施行規則の改正により、消防用設備等が適合していることの認定を行う法人は、この指定を受けて認定を行うことになりましたが、総務省令第79号(5月31日付け)で、社団法人電池工業会が消防用の非常電源の蓄電池設備について、この指定認定機関として指定されました。

当工業会は、消防法施行規則(昭和36年自治省令第6号)に規定する蓄電池設備の構造および性能の基準を維持すべく、昭和48年以来この蓄電池設備の「自主認定」を続けてまいりましたが、今後は総務省消防庁の指定認定機関として認定事業を継続することとなったものです。

今回、「蓄電池設備」の認定機関として指定を受

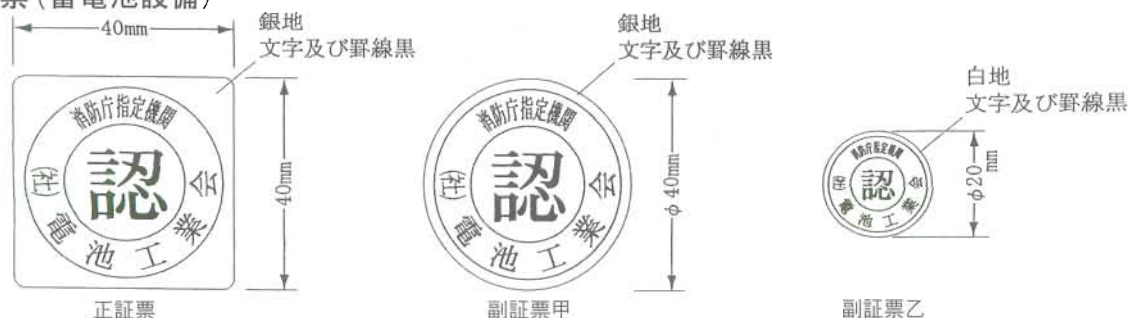
けた電池工業会と同時に指定機関となったのは日本消防設備安全センター(不活性ガス消防設備等17品目)、日本電線工業会(電線)、日本内燃力発電設備協会(自家発電設備)の3法人です。

電池工業会では、より制度の透明性・公平性を高めた指定認定機関として、第1回の認定委員会を8月よりスタートさせることといたしました。

なお、指定認定機関としての蓄電池設備認定委員会で認定された蓄電池設備には、従来の認証ラベルに替わり、下図の消防庁指定機関の表示ラベルが表示されることになります。

現在、従来の蓄電池設備認定委員会の登録事業者各社については、別途詳細をご連絡いたします。

認定証票(蓄電池設備)



平成13年 6月度の電池工業会活動概要

部会	6月度開催日	委員会・会議	主な審議・決定事項
特別会議その他	14日(木)	新種電池研究会	*最新の各種蓄電池関連情報の紹介、2001年度学会予定など
	21日(木)	広報総合委員会でんちフェスタWG	*街頭PR「でんちフェスタ」の計画推進
	28日(木)	広報総合委員会	*各部広報委員会の活動状況報告
二次電池部会	1日(金)	PL委員会(代表)	*国土交通省での定期報告、自動車電池破裂について
	4日(月)	自動車鉛分科会	*JIS D 5302(二輪自動車用鉛蓄電池)の改正案
	5日(火)	産業用密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト	*申請書準備 経産省・環境省による中間チェックと打合せ
	5日(火)	小形シール鉛分科会	*JIS C 8702(小形シール鉛蓄電池)の改正案、IEC規格日本提案
	6日(水)	二次電池リサイクル拡大事務局委員会	*リサイクラーとの会議、産業用蓄電池リサイクルの検討
	7日(木)	電気車用電池リサイクル分科会	*車輛業界との今後の折衝、引取りとリサイクラー情報について
	13日(水)	二次電池部会(鉛5社)	*産業用密閉形及び自動車用鉛蓄電池リサイクルの審議
	13日(水)	自動車用電池需要予測小委員会	*三菱総研の最終報告書を審議
	13日(水)	自動車用電池市販小委員会	*自動車用電池リサイクルについて、L型端子について
	13日(水)	据置鉛分科会	*JIS F 8101(船用鉛蓄電池)改正案、比重計の共用について
	14日(木)	用語分科会	*SBA規格(蓄電池用語)の校正、他分科会より依頼の規格の書式審査
	14日(木)	電気車鉛分科会	*JIS D 5303(電気車用鉛蓄電池)改正案、SBA規格改正案2件
	18日(月)	リサイクル委員会(代表)	*中央環境審議会、自動車リサイクル専門委員会ヒヤリング
	19日(火)	広報委員会	*記者懇談会について、キャンペーン企画の進め方
	20日(水)	EV用電池委員会	*H12年度の総括とH13年度の活動方針、EVリチウム分科会発足について
	21日(木)	据置アルカリ分科会	*JIS C 8706(据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池)改正案
	22日(金)	二次電池リサイクル拡大事務局委員会	*リサイクラー有志との研究会 *産業用密閉形及び自動車用鉛蓄電池リサイクルの検討
	22日(金)	資材小委員会	*比重計・ボルトナットの統合、共用金型について
	22日、23日	自動車用電池技術サービス小委員会	*ブリヂストン東京工場見学、毒劇物取締法改正に伴う硫酸情報提示内容
	25日(月)	産業用電池小委員会	*産業用蓄電池の認定申請方針案の立案
	26日(火)	EVリチウム分科会	*電気自動車用リチウム電池規格作成のために発足、今後の進め方
小形二次電池部会	1日～2日	小形二次電池部会	*関係委員会の平成12年度の活動結果と13年度の活動計画の審議・承認
	11日(月)	小形シール鉛分科会	*回収率の定義、小形シール鉛電池リサイクルのQ&A
	13日(水)	再資源化アルカリ分科会	*モデル自治体ルートの取組み、改正リサイクル法Q&Aの検討
	14日(木)	リチウム二次分科会	*IEC規格の継続審議、用語のCDVも審議開始
	15日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	*IEC規格の審議及びビル設備のTC64CDへの対応を協議
	21日(木)	再資源化委員会	*リサイクル推進功労者推薦、収集保管運搬時の注意事項など
	22日(金)	業務委員会	*5月度の出荷実績の検討、5月輸出分の用途調査など
	26日(火)	ニカド・ニッケル水素分科会/リチウム分科会合同	*IEC規格の審議及びビル設備のTC64CDへの対応を協議
	26日(火)	広報委員会	*リサイクルキャンペーン開始状況の確認等
一次電池部会	1日(金)	IEC/規格小委員会	*JIS C 8511規格など3件の改正審議とIEC国際規格対応を協議
	6日(水)	環境対応委員会	*H13年度委員長を選出、当面の委員会活動項目を決定
	7日(木)	規格小委員会	*JIS K 1469アセチレンブラックなど2件の改正審議を生産メーカーと協議
	15日(金)	業務委員会	*H13年度、14年度の乾電池需要予測
	28日(木)	IEC/規格小委員会/リチウムWG	*JIS C 規格の3件改正とIECクラコー国際規格対応を協議

業界動向

***松下電池工業** ミシン目をちぎって使う乾電池包装パッケージ「見分けるバック」が市場で好評を獲得中。
(5月4日付 電波)

***ダイムラー・クライスラー&三菱グループ** 環境保全に対応した燃料電池自動車の共同開発をする方針を固める。
2003年～2004年を目処に商品化を狙う予定。
(5月5日付 電波)

***アイシン・エイ・ダブリュ(トヨタ関連)** ハイブリッドシステムの米国フォードへの納入交渉を開始中である事を発表。数量は年1万台～2万台
(5月5日付 日経)

***燃料電池** 燃料電池の新燃料の実用化に向け30社が参加した研究会が発足、燃料電池車開発の課題である水素取り出し装置の軽量化等に取り組む。
(5月5日付 日経)

***携帯電話** NEC、松下通工を始めとする携帯電話各社が世界最大市場である欧州向け製品の減産に動き始めた。半導体、電子部品等関連産業へも影響が懸念される。
(5月6日付 日経)

***ソニー** 「AIBO」誕生二年を記念して新たな楽しみ方が可能なアプリケーションソフト3タイトルを5月11日から発売。
(5月8日付 日経&電波)

***呉羽化学** 炭素とグラファイトをハイブリット化した新規負極材の年内採用等を行う事でリチウム二次電池関連事業を強化へ。
(5月8日付 化学工業日報)

***経済産業省** HEV、天然ガス自動車等の低公害車の普及促進策の検討を開始。
(5月9日付 日刊工業)

***三井金属** 神岡鉱山での採掘を6月末で中止、高品位の亜鉛鉱石は豪州より全量輸入へ。
(5月9日付 日刊工業)

***東亜鉛** 安中製錬所での電池リサイクル事業を強化、本年度の処理量を4000～5000トンに引き上げる。
(5月10日付 化学工業日報)

***経済産業省** 太陽光発電でコスト目標を1ワット100円とした技術開発を五カ年計画で進める事を決める。
(5月11日付 化学工業日報)

***日立工機** 新製品開発でコードレスを核とした電動工具で攻勢をかけ今期の売上11%増を予定中。
(5月11日付 日刊工業)

***三洋電機** 中期経営計画で2003年度のデジカメの連結売上を、2000年度比二倍の2000億円を目指す計画を練る。
(5月11日付 日刊工業)

***東芝** 携帯電話の生産を中国、欧州で行う事を検討中、これにより二年で売上を現在の三倍増をみる。
(5月12日付 日経)

***富士通** 回収網を整備する事等で、欧米でのパソコンのリサイクル事業に乗り出す。
(5月13日付 日経)

***ソニー** 2001年中にパソコンリサイクル事業を米国で着手。
(5月13日付 日経)

***松下電池工業** 光源に高輝度の白色発光ダイオードを用いた長寿命・軽量のヘッドランプを6月1日から発売。
(5月15日付 電波&日刊工業)

***松下電池工業** 大電流パナソニックアルカリ乾電池の発売を米国最大のドラッグストアチェーン「CVSファーマシー」で開始。
(5月16日付 電波)

***シャープ** 挿絵、図、漫画等が入った電子書籍をPDA「ザウルス」で読む新フォームをこの程開発、文芸春秋の電子書籍を6月からインターネット経由で有料配信。
(5月17日付 日経産業)

***松下電子部品** 世界最高の大電流耐性を付与したHEV用アルミ電解コンデンサの開発に成功、今月から量産を開始。
(5月18日付 化学工業日報)

***インテル(米)** 携帯電話とハンドヘルドPCに搭載されている基幹部品を組み合わせ、一つの半導体に混載して「ワイヤレス・インターネット・オンチップ」を可能にするプロセス技術を開発。
(5月19日付 電波)

***マイクロソフト** 携帯情報端末(PDA)のメーカー大手のハンドスプリング社と提携し、総合サイトを拡充へ。
(5月22日付 日経産業)

***インターネット接続用端末** ネット利用調査から、将来利用したいネット端末は、PDAが携帯電話よりも高い評価を得ている事が確認された。
(5月21日付 日経産業)

***早稲田大学理工学部** HEVの最適制御条件を引き出すシミュレーションソフトを開発。
(5月21日付 日刊工業)

***フレックス・デザイン(オランダ)** 便利で使いやすさを追求した折りたたみ式の電動車いすを開発、これによりバッテリーの設置が容易に。
(5月21日付 日刊工業)

***パームコンピューティング(米パーム社の日本法人)** 国内PDA市場での拡販を目指し、最新版パームOSを搭載したPDAの販売を6月上旬から開始へ。
(5月22日付 日経産業)

***三井金属** IT関連の需要増が寄与、2001年3月期連結決算で、営業利益等が過去最高益を達成。
(5月22日付 日刊工業)

***日本化学会** 中高校生の理科離れ対策に自作電池のカーレースを計画、コンテストをこの夏に開催へ。
(5月23日付 朝日)

***ICレコーダー** ソニーと東芝が高性能のICレコーダーを発売する。ソニー品は23時間の連続録音、東芝品は58グラムの最軽量が各々最大の特徴になっている。
(5月23日付 日経産業)

***トヨタ** HEVの生産を現在の10倍に当たる月産3万台体制にする事、同技術を国内外メーカーに開放する事を各々明らかにした。
(5月24日付 日刊工業)

***カシオ計算機** ユーザー層が拡大中の電子辞書でカシオ社の売れ行きが好調、シェア50%を堅持中。
(5月26日付 電波)

***松下電池工業** 釣り用品の新製品として、既に3月から発売中の浄化機能付の乾電池式エアポンプの売れ行きが好調に推移中。
(5月28日付 電波)

***ソニー** 今年度のデジカメの販売を前年度比70～90%増の450万台～500万台とする計画を発表。
(5月29日付 化学工業日報)

***日本電池** 次世代電池自動車用電源として注目の大型リチウム二次電池の専用生産拠点の新設を計画中である旨を発表。
(5月30日付 化学工業日報)

***電波腕時計** 定期的に標準電波を受信して正確な時刻に合わせる電波腕時計をカシオ計算機とシチズン時計が相次いで発売。新商品の投入で需要拡大を狙う。
(5月30日付 日経産業)

***三洋電機ソフトエナジーカンパニー** ニッケル水素電池とリチウムイオン電池の生産拠点としてのメキシコで建設中の新工場が5月29日に竣工。
(5月31日付 電波)

***松下電池工業** ナショナル/パナソニック乾電池の購入者を対象に「トミカビットレーサー」が当たる夏キャンペーンを6月上旬から開始。
(5月31日付 電波)

***三洋電機** 新画質技術を搭載した「動画デジカメ」を6月22日から発売。
(5月31日付 電波)

***東芝** 420万画素のCCDを搭載したデジカメを7月中旬から発売。
(5月31日付 電波)

JIS規格

◎電池のJIS規格の改正と制定について

最近改正、制定された電池のJIS規格には以下のものがあります。
(出版元 財団法人日本規格協会 TEL:03-3583-8071)

一次電池通則 JIS C 8500 : 2001 平成13年3月20日改正 本体2,200円(税別)

.....● 新製品ニュース ●.....

300万画素クラス最小・最軽量デジタルカメラ

“《ゼロハリバートンデザイン》 デジタルカメラ ZD3” 新発売

日立マクセル株式会社(社長:赤井 紀男)は、「《ゼロハリバートンデザイン》デジタルカメラ ZD3」を発売します。

「ZD3」は、エグゼクティブビジネスマンに支持されているこだわりのブランド「ゼロハリバートン(ZERO HALLIBURTON)」の鞆のイメージと、「デジタルカメラ」を組み合わせることで、最近ますます身近な存在になった「デジタルカメラ」を、今までにない高級感のある個性的なデザインに仕上げました。

デジタルカメラとしての性能も、高性能300万画素クラス、小型・軽量で、ゼロハリバートンのファンのみならず、デジタルギアへ関心の高いお客様にも満足していただけると考えております。



[特長]

1. 伝統的なスタイルが人気のゼロハリバートンデザイン。
2. 300万画素クラス、光学2倍ズームレンズ搭載で最小・最軽量クラス。
3. 高精細334万画素CCD、高解像力の光学レンズ搭載。
4. 新世代メディアSDメモリーカードを採用。
5. 10,000台限定モデル。
6. シリアルナンバー入りのデザイン。
7. インターネットによる予約受注受付、予約者には特典あり。

第1次販売(7月1日～8月31日)として、インターネットによる予約を受付します。専用のホームページ「<http://www.zerohalli.com/>」も開設。

販売店のサイトも連動し、先行販売を行います。予約者には限定の特典付。

※2次販売として店頭販売を10月10日より行います。

※電源の電池は3.6Vリチウムイオンバッテリー800mAhを使用。

東芝フェイス&ボディケアシリーズ

東芝ノーズケア・DC-901(W)

東芝ボディケア・DC-601(L)、(P)



(もっときれいに!) 女性のおしゃれ心をキャッチする美しいフォルム&カラー…
東芝フェイス&ボディケアシリーズです。

化粧品のようなイメージの理美容グッズにノーズケア、ボディケアの2アイテムが加わりました。

[特長]

〈ノーズケア・DC-901(W)〉

気になるはな毛はしっかりお手入れ!! 安全、手軽にカットできます。

1. スリムボディで、はな毛をしっかりカット!
2. 安全設計の丸い刃先形状採用!
3. 肌あたりのよい丸い刃先が、デリケートな鼻孔を傷つけることなく、気になる入り口付近のはな毛をカットします。
4. 刃先は水洗いOK! 清潔に使えます。

※電源の電池は、単四形アルカリ乾電池LR03 1個使用。

〈ボディケア・DC-610(L)、(P)〉

ワキ、ウデ、アシにやさしくフィットしてデリケートなお肌を守りながら、ムダ毛をスムーズに処理できます。

1. 粗剃り用トリマー刃で長い毛や寝た毛を起こして確実にカット。
2. お肌に優しい仕上げ刃でしっかり除毛。
3. 水洗いOK! バスルームでも使えて、ベンリ。ムダ毛の処理をしたあとは、サット水で洗い流すだけ。バスルームで、お肌に優しい石けん剃りもできます。

※電源の電池は、単三形アルカリ乾電池LR06 2個使用。

浄化機能付きの乾電池式エアポンプ[®](業界初)

酸素でイキイキ浄化で長生き

松下電池工業(株)(社長 安田幸伸)は、小アジを使ったアオリイカ釣りなど、生き餌釣りに効果を発揮する、乾電池式では業界初の浄化機能付きエアポンプを3月より発売しました。

従来の乾電池式エアポンプは、水中に酸素をいかに効率良く溶けこませるかに注力してきました。しかし生き餌の鮮度と寿命は酸素のみではなく、魚から排泄されるアンモニア、糞及び輸送等のストレスにより過剰に分泌される粘膜によって大きく影響されます。

本製品は、マイクロストーン^{(*)1}の使用及び送風量を20%アップすることにより、泡と水との広い接触面積を確保することで、酸素、二酸化炭素、アンモニアのガス交換^{(*)2}が促進されます。更に、新開発の浄化ユニットにより、生き餌の排泄物の汚れを浄化する機能を装備しました。

(*)1 多孔質セラミックストンで、従来の焼結ストンと比較し2倍の速さで酸素供給が可能

(*)2 気泡から水中へ酸素供給がなされ、水中から二酸化炭素、アンモニアが気泡に吸収されること。

[特長]

1. 乾電池式では、業界初の浄化機能付きエアポンプ(BH-736)
2. 毎分1500mlのマイクロの泡で酸素供給(当社従来品BH-734比20%アップ)・強い水流により、新開発の浄化ユニットが効果的に汚れた水を浄化
3. 本体、ストンとも水洗いが可能
4. 浄化フィルターは繰り返し洗って使えます。(約10回程度)
※別売:交換用フィルター(BH-466)2枚組 600円
(使用電池:単1乾電池×2個)



高輝度白色LED採用の軽量ヘッドランプ

「リチウムLED3WAYライト」を発売

定電流方式で業界初の強・弱切り替え機能付

松下電池工業(株)(社長 安田幸伸)は、光源に高輝度白色LEDを採用すると共に、定電流回路を搭載することで、電池の使い始めから寿命まで一定の明るさを保つことができるヘッドランプ「リチウムLED 3WAYライト」を6月1日から発売します。

高輝度白色LEDは、電気から光への変換効率が高く、長寿命というメリットがありますが、電池寿命の時間内で明るさを一定にするのが困難でした。そこで、本製品は、定電流回路の採用で電流を制御することで、使い始めから電池寿命まで一定の明るさを保つことができます。また、定電流方式では業界で初めて用途に合わせて明るさの強・弱の切り換えができる機能を搭載しました。登山や釣りなどでヘッドランプとしてだけでなく、首掛けライト、テントに吊るして常夜灯にするなど(=3WAY)幅広く使用できます。

[特長]

1. 高輝度白色LED採用で長寿命
 - ・電池寿命は強点灯で連続約7時間、弱点灯で連続約150時間
(いずれも20℃でパナソニックリチウム電池使用時)
2. 業界初 定電流方式で、強・弱の切り換え機能付
 - ・用途に応じて強(約180ルクス*)か、弱(約10ルクス*)の2つの明るさをスイッチで選択できます。
(*30cm前方の明るさ)
3. 約70グラムの小型・軽量設計(業界最軽量クラス)
 - ・リチウム電池の採用で、持ち運びに便利な小型・軽量化を実現しました。
(使用電池:リチウム電池CR123A1個使用)



4月度電池および器具販売実績（機械統計）

（平成13年4月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	478,716	54,666	79%	79%	2,033,042	240,083	85%	86%
全電池合計	477,780	53,080	79%	79%	2,029,621	234,074	85%	86%
一次電池計	353,859	12,680	85%	80%	1,481,331	52,188	90%	84%
マンガン乾電池計	96,892	1,893	80%	69%	389,903	7,943	86%	75%
単一	8,733	460	75%	75%	42,036	2,188	73%	69%
単二	6,167	226	48%	46%	25,655	929	65%	62%
単三	54,958	825	90%	75%	208,672	3,247	93%	82%
その他	27,034	382	77%	71%	113,540	1,579	87%	78%
アルカリ乾電池計	107,280	5,822	82%	80%	434,426	23,928	90%	89%
単三	66,546	3,242	84%	83%	283,102	13,927	100%	103%
単四	27,042	1,385	75%	69%	93,563	4,946	74%	72%
その他	13,692	1,195	85%	87%	57,761	5,055	79%	79%
酸化銀電池	73,054	850	101%	99%	312,585	3,701	99%	92%
リチウム電池	72,942	3,937	81%	81%	328,491	15,911	86%	80%
その他の乾電池	3,691	178	133%	114%	15,926	705	105%	91%
二次電池計	123,921	40,400	67%	79%	548,290	181,886	74%	87%
鉛電池計	3,108	10,078	91%	102%	15,098	52,069	94%	103%
自動車用	1,462	4,831	97%	97%	7,729	26,445	102%	100%
二輪用	459	861	98%	96%	1,858	3,264	95%	91%
小形シール	965	1,019	77%	82%	4,448	4,543	80%	84%
その他	222	3,367	114%	122%	1,063	17,817	118%	119%
アルカリ電池計	86,493	11,083	61%	66%	391,378	47,815	67%	71%
完全密閉式	34,862	4,238	65%	69%	170,528	19,067	85%	84%
ニッケル水素	51,617	6,624	58%	64%	220,780	27,165	58%	64%
その他のアルカリ電池	14	221	82%	94%	70	1,583	73%	73%
リチウムイオン電池	34,320	19,239	86%	77%	141,814	82,002	98%	89%
器具計	936	1,586	82%	88%	3,421	6,009	75%	94%
携帯電灯	514	476	77%	72%	1,809	1,897	62%	71%
電池器具	422	1,110	89%	97%	1,612	4,112	99%	110%

4月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（平成13年4月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（少数以下四捨五入の為、合計が含まないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	264,262	28,899	72%	72%	1,087,625	118,954	79%	79%
一次電池計	168,830	3,538	82%	86%	663,871	13,852	91%	85%
マンガン	59,356	453	98%	95%	202,485	1,570	98%	89%
アルカリ	20,270	397	66%	78%	92,622	1,626	75%	75%
酸化銀	33,749	429	72%	71%	143,497	1,814	107%	102%
リチウム	50,048	2,158	76%	87%	213,067	8,490	83%	84%
空気亜鉛	1,320	34	227%	292%	6,953	132	107%	102%
その他の一次	4,087	67	1041%	135%	5,248	220	92%	45%
二次電池計	95,432	25,361	59%	71%	423,754	105,102	67%	78%
鉛蓄電池	615	998	75%	91%	2,478	3,890	75%	86%
ニカド	25,062	2,532	56%	58%	127,179	12,040	79%	75%
ニッケル鉄	12	1	3%	3%	218	23	25%	28%
ニッケル水素	36,975	5,045	52%	58%	164,252	20,640	54%	59%
リチウムイオン	27,019	14,859	82%	76%	104,133	60,449	92%	86%
その他の二次	5,750	1,925	45%	85%	25,495	8,060	46%	87%
全電池合計（輸 入）	34,138	3,103	107%	106%	156,035	15,146	125%	115%
一次電池計	30,059	926	113%	156%	135,276	4,670	131%	159%
マンガン	7,497	104	71%	76%	38,361	562	96%	99%
アルカリ	20,748	436	141%	121%	88,418	1,810	156%	138%
酸化銀	280	6	448%	252%	1,280	34	631%	385%
リチウム	936	59	116%	85%	4,070	474	90%	138%
空気亜鉛	207	9	57%	79%	1,441	52	97%	92%
その他の一次	391	312	705%	2321%	1,705	1,738	314%	264%
二次電池計	4,079	2,176	77%	94%	20,759	10,477	96%	102%
鉛蓄電池	372	1,028	72%	96%	1,907	5,032	103%	119%
ニカド	768	255	70%	56%	4,487	1,473	91%	80%
ニッケル鉄	0	3	—	—	0	8	343%	288%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の二次	2,939	890	80%	111%	14,365	3,963	97%	95%